

災害時における外国人支援研修

～やさしい日本語の活用～

近年多発している自然災害から外国人住民をどのように守るかが課題となっています。外国人住民への情報提供・コミュニケーション手段として「やさしい日本語」の活用が重要視されています。

●「やさしい日本語」とは？

難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

例) 高台に避難してください。→^{たか}高いところに^に逃げてください。
避難所→^に逃げる ところ



参加無料

日時：令和4年12月22日(木)
14:00～15:30

開催方法：オンライン開催(Zoom)

対象：行政関係者、防災関係者、
外国人住民の支援団体、一般県民の方

(財)消防防災科学センター
http://www.isad.or.jp/

(財)消防科学総合センター
http://www.isad.or.jp/

写真提供：(一財)消防防災科学センター「災害写真データベース」



きむ ちあき
講師：金 千秋 氏

多文化・多言語コミュニティメディア FMわいわい 代表理事

【講師プロフィール】

神戸で生まれ育ち、1995年の阪神・淡路大震災で被災。

震災2週間後から安否確認のために始まった在日コリアンコミュニティ放送「FMヨボセヨ」に参加。

その後誕生した多文化・多言語ラジオ局「FMわいわい」にて外国人住民に向けた情報発信など精力的に活動を行っている。

申込期限 令和4年12月16日(金)

内容の詳細、申込方法等は裏面を御覧ください。

Webフォーム
からも
申込可能です



主催：鳥取県

内容

- ・災害時に外国人支援が必要な理由
- ・平時に必要な備え
- ・やさしい日本語の活用（「やさしい日本語」を用いた防災放送、避難誘導標識の設置、避難所への誘導、避難所での対応等）
- ・「やさしい日本語」文例集や多言語翻訳アプリを活用した外国人への対応方法

「やさしい日本語」について

◎「やさしい日本語」の始まり

きっかけは、阪神・淡路大震災です。外国人被災者の中には、日本語が理解できず必要な情報を受け取ることができなかった人もいました。そこで、外国人に対しても迅速に災害などの情報伝達を行う手段として考え出されたのが「やさしい日本語」です。

現在では、自治体での生活情報の発信や外国人観光客とのコミュニケーション手段として活用されるなど、取組が広がっています。

「災害時における外国人支援研修」 申込方法

◎お申し込みは、以下①、②のいずれかの方法でお申し込みください。

【申込締切】令和4年12月16日（金）

①Googleフォームによる申込み

右のQRコードを読み取っていただき、フォームに必要事項を記載の上、お申し込みください。

②ファクシミリ又はメールによる申込み

以下の申込書に必要事項をご記載の上、ファクシミリ又はメールでお申し込みください。

（ファクシミリ）0857-26-2164 （メール）kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp

◎当日の研修会のURLと資料は、研修会開催の2日前（12月20日（火））までにお申し込みいただいたメールアドレス宛にお送りします。

◎講演動画について、研修会開催後に閲覧を希望される場合は、団体名、氏名、動画視聴URL送付先メールアドレスを記載して、メールで交流推進課（kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp）まで申し込んでください。



団体名				
参加者	氏名		メールアドレス	
	氏名		メールアドレス	
	氏名		メールアドレス	
講師への質問等があれば記載してください				
担当者連絡先（電話）				
備考				

【問合せ・申込先】

鳥取県 交流人口拡大本部 観光交流局 交流推進課

〒680-8570 鳥取市東町1-220

電話：0857-26-7595 ファクシミリ：0857-26-2164

電子メール：kouryusuishin@pref.tottori.lg.jp